

平成 24 年度 学部 FD 推進事業報告書

標記のことに、以下の通り報告いたします。

学 部 名	経済学部	
事 業 名	4 年間を見通した教育改善を目的とした学生による主観的な学修の達成度に関する調査	
平成 24 年度実務担当者名	田原 裕子	
事 業 の 概 要		
【計画性】当初計画通りに事業を推進できたか？ （いずれかにチェック）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りであった <input type="checkbox"/> 概ね計画通りであった <input type="checkbox"/> あまり計画通りではなかった <input type="checkbox"/> 計画通りではなかった		
（以下、 <u>本年度の推進事業の概要</u> について、年初「申請書」の「内容」「目的」「計画」、及び前記【計画性】の自己評価、さらに別添の「経費執行表」における予算の執行結果に照らして記入してください。）		
1. 年度当初に計画した本事業の「目的」「内容」「計画」は以下の通りであった。		
<ul style="list-style-type: none"> ● 目的：経済学部の 3 つのポリシーに基づき、学部の教育カリキュラムの改善に向けた P D C A サイクルの構築と運用に必要な資料のうち、学生に関わるデータの収集を目的とする。すなわち、初年次教育科目・専門課程科目の教育効果、カリキュラム体系（コースなど）の学修誘導効果について、学生のアカデミックリテラシーや経済に関する知識についての主観的達成度（～ができる）、満足度（役に立った）、ならびに学修意欲の観点から分析する。 ● 内容と計画：以下の 4 時点において、当該学年全体を対象とするアンケート調査を実施する。本事業の経費は、これら 4 つのアンケート調査のデータの入力、単純集計、クロス集計のための電算委託費として使用する。 		
調査時期	調査手段	おもな調査内容
1 年前期終了時	基礎演習A	基礎演習Aの満足度、学修意欲
1 年後期終了時	基礎演習B	基礎演習Bの満足度、主観的達成度、学修意欲
2 年終了時	Business English	主観的達成度、専門演習への応募状況、コースに対する意識
卒業時	卒業証書授与式	主観的達成度、専門演習ならびに科目群ごとの満足度
2. 事業の概要		
<ul style="list-style-type: none"> ● 4 つのアンケート調査をすべて予定通り実施し、経費も予定通り執行した（執行率 98.8%）。 ● 調査の実施にあたっては、教務委員会・自己点検評価実施委員会の連携のもとにアンケート票を作成し、その内容は学部教授会において報告した。また、2 年終了時以外の 3 つのアンケートについては、経済学部の専任教員全員（基礎演習担当またはクラス担当）の協力のもとに実施した。 ● 学部自己点検評価実施委員会を 3 回開催し、調査結果の分析を行い、提言をまとめた（別紙参照）。 ● 分析結果の概要のうち、基礎演習 A, B に関わる部分については、教授会懇談会を 2 回（7 月と 12 月）実施して報告した。 		